

インフラの維持管理・修繕等 / 災害対策・復旧を見据えたインフラ整備・維持管理 / 無電柱化 / スモールコンセッション / グリーンチャレンジ / その他（ ）

（団体名）一般財団法人日本気象協会 & 株式会社建設技術研究所 共同提案
 （タイトル）気象DXと交通ICTを駆使した除排雪管理プラットフォームの提案

【分野】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【手法】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

本提案は、除排雪体制の確保や除雪関連コストの上昇など豪雪地域が抱えるインフラ維持管理の課題解決を目指すものです。一般財団法人日本気象協会が有する高頻度で高精度な気象予測技術と、株式会社建設技術研究所が有するインフラマネジメント技術の融合による除排雪管理プラットフォームの提供により、**除排雪作業の持続可能性を高めます。**

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

課題①：除排雪体制の確保…オペレータの高齢化・担い手不足、除雪車・除雪業者の確保、除雪・排雪のムリ・ムラ

課題②：除雪管理コストの縮減…除雪関連コスト（労務費、機械損料、燃料）の上昇、高齢化・少子化による税収の減少

課題③：生活道路の確保、物流や生活物資の安定供給…除排雪の非効率による交通障害、物流の機能障害・生活物資の供給不足

想定する自治体：北日本における、人口10万人以下の自治体『豪雪地域など除雪が必要な地域、立地…中山間地域などの地域公共交通が十分でない地域』

②提案の概要

【コンセプト】

スノースマートシティの実現：高頻度で高精度な気象予測技術（降雪量・積雪量解析）、リアルタイムで集約されるインフラ関連情報を駆使し、**データ連携技術の活用やマネジメント技術（発注者支援、CM方式）を応用すること**により、地域の課題解決と持続可能な社会の実現を目指します。

【本提案の体制】

一般財団法人日本気象協会 × 株式会社建設技術研究所（Weather-Tech × Infra-management-Tech）

【課題解決へ向けた方策】

●ニーズ調査(Phase1)

行政機関や地域企業の皆様との情報交換により、除排雪体制・インフラ維持管理の課題、自治体が抱えるニーズを把握し、課題の優先度（緊急、短期、長期）を整理します。

●除排雪管理プラットフォームの構築(Phase2)

高頻度で高精度な気象予測情報、リアルタイムで集約される除排雪管理状況や交通量情報を、除雪作業関係者や地域の皆さまが共有するための『**除排雪管理プラットフォーム**』を構築します。本システムの導入により、自治体の除雪管理の効率化と最適化をすすめるとともに、地域住民に向けて情報を一部公開・共有し、市民サービスの向上に役立てます。

●包括維持管理への展開(Phase3)

情報プラットフォームの**実地フィールドを利用した実証実験**等を行ったうえで、実際の除雪業務への導入、活用などを進めます。包括維持管理など発注方式の検討・見直しを並行して進めることにより、除雪業務の効率化と事業継続、市民サービス向上を目指します。

③課題解決のイメージ・効果

自治体：インフラの維持管理の高度化・効率化、住民への適切なサービス提供

地域企業：安定的な事業量確保、地域への持続的な貢献

地域住民：タイムリーかつ良好な除雪作業による道路の確保、不満解消

その他

- ・ 除排雪管理プラットフォームの運用にあたっては、管理の高度化のためAI技術を駆使した気象予測、交通量予測などの導入を検討します。
- ・ 平時の道路管理と降雪時の除雪作業の一括発注や複数年契約、包括民間委託など効率的、持続的な発注方式を併せて検討します。